

写 真 展

写真家がとらえた 昭和の子ども



東京都・江東 | 昭和28年(1953) | 土門拳《おしくらまんじゅう》

2026

4.25 土 → 8.23 日

10:00 ▶ 17:00 (最終入場16:30まで) ※祝日を除く月曜休館

あーすぷらざ 3階 企画展示室

入場料

大人 400円 / 高校・大学生・65歳以上・左記以外で20歳未満の方 200円
小・中学生 100円 / 未就学児 無料 ※常設展示室観覧料と共通

木村伊兵衛
土門拳
濱谷浩
林忠彦
植田正治
桑原甲子雄
岩宮武二
芳賀日出男
長野重一
田沼武能

熊切圭介
齋藤康一
飛弾野数右衛門
熊谷元一
入江泰吉
山端庸介
緑川洋一
井上孝治
麦島勝

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぷらざ

[主催] 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)
[指定管理者] 公益社団法人青年海外協力協会
[企画協力] 株式会社クレヴィス

昭和100年を迎えて

昭和元年から起算して満100年を迎える本年。昭和は、戦争や復興、高度経済成長へと大きく揺れ動き、まさに疾風怒濤の時代でした。

子どもたちを取り巻く生活環境もまた、劇的な変化を遂げていきました。写真に写る子どもたちの姿には、移り変わる時代や社会の様相が写し出されています。無心に遊ぶまなざしや、仲間と過ごすひととき、たくましく生きる姿一。「昭和100年」という節目の年に、本展では、日本の写真史に名を残す写真家をはじめ、各地方で活動を続けてきた写真家を含む全19名の作品を通し、昭和の子どもたちの暮らしや遊びを紹介します。

昭和の歩みをたどり、私たちが生きる現在、そして未来へとつながる平和な社会について考える機会となることを願っています。

「土門拳の人生と写真、そして昭和のこどもたち」

みんな貧しく、でも元気いっぱい目を輝かせて遊ぶこどもが町にあふれていた昭和。根っからのこども好きであった土門拳が撮影した当時のこどもたちの作品を振り返るとともに、時代を代表する写真家となった彼の生涯や代表作の数々を研究者をご紹介します。

2026年6月13日(土) 14:00-15:10 (開場13:30)

会場 | あーすぶらざ5階映像ホール

定員 | 120名 (WEB予約制) 詳細はホームページをご確認ください。

対象 | どなたでも

参加料 | 要常設展示室観覧料 (大人400円 他)

講師 | 田中耕太郎氏 (土門拳写真美術館/学芸員)

わたしの
昭和

写真募集!

詳細はこちら



東京都・江東 | 昭和28年(1953) | 土門拳《笑う子》



東京都・上野駅
昭和21年(1946) | 林忠彦
《煙草をくゆらす戦災孤児》



沖縄県・糸満漁港
昭和34年(1959) | 井上孝治
《大きな魚が捕れた》



長野県・会地村 | 昭和28年(1953) | 熊谷元一
《コッペパンをかじる》

常設展示室(5階) 国際平和展示室

戦時体制下の県民の暮らしや、復興に向けて歩みだす様子などを
実物資料や映像、写真などで実感し、過去の戦争を見つめます。

※本写真展の入場料で、5階常設展示室の観覧ができます。

休館日 | 祝日を除く月曜及び5月25日-27日

展示コーナー(2階)

宇山あゆみコレクション展「みんなの思い出洋品店」

懐かしいファッションから想起する昭和雑貨を展示します。

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぶらざ

〒247-0007
神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1
[TEL]045-896-2121
[E-mail]gakushu@earthplaza.jp

JR本郷台駅 徒歩3分



最新情報は
こちらから

@earthplaza_kikakuten

www.earthplaza.jp/event/showa_children/
内容変更や中止の場合はホームページにてお知らせします。

